廃プラスチック削減取組計画

●プラスチック資源循環促進法の対応

プラスチック製品の設計から製造・使用後の再利用まで、すべてのプロセスで資源循環していくため、排出量の集計、再資源化の状況、排出の抑制計画について、下記に報告します。

2023 年度の排出量は 250t 以上のため、排出抑制及び再資源化等の促進に取り組みます。

1. 廃プラスチック排出目標値

年度	排出量[t]	目標量[t]
2022 年	591	―
2023 年	424	―
2024 年	―	260

※前年比−39%減

※廃プラスチックの 99.7%はサーマルリサイクルに資源循環しております(2023 年度実績)。

2. 生産計画

年度	生産重量[t]	目標量[t]
2022 年	8,028	―
2023 年	8,184	―
2024 年	―	9,478

※前年比 16%増

2024 年度の製品の総生産重量は、2023 年度より約 16%の増加を見込んでおり、廃プラの排出量は前年度より削減を計画しています。

3. 削減計画

排出抑制	・ラインの歩留まり改善(ロス削減) ・良品排出量:前年比 2%削減 **⇒ 年間約 8.5t 削減**
分別による種別変更	・分別厳格化による廃プラ⇒汚泥転換 **⇒ 年間約 85.5t 削減**
サーマル・マテリアルリサイクル	・衛生シート原料買取(産廃排出削減等) **⇒ 年間約 70.0t 削減**

なお、水分を多く含む高分子ゲルシートの水分減容設備の導入検討を行っており、2025 年導入・稼働を目標に進めてまいります。

上記の削減計画を実施することで、中長期において排出量 250t 以下を目指します。